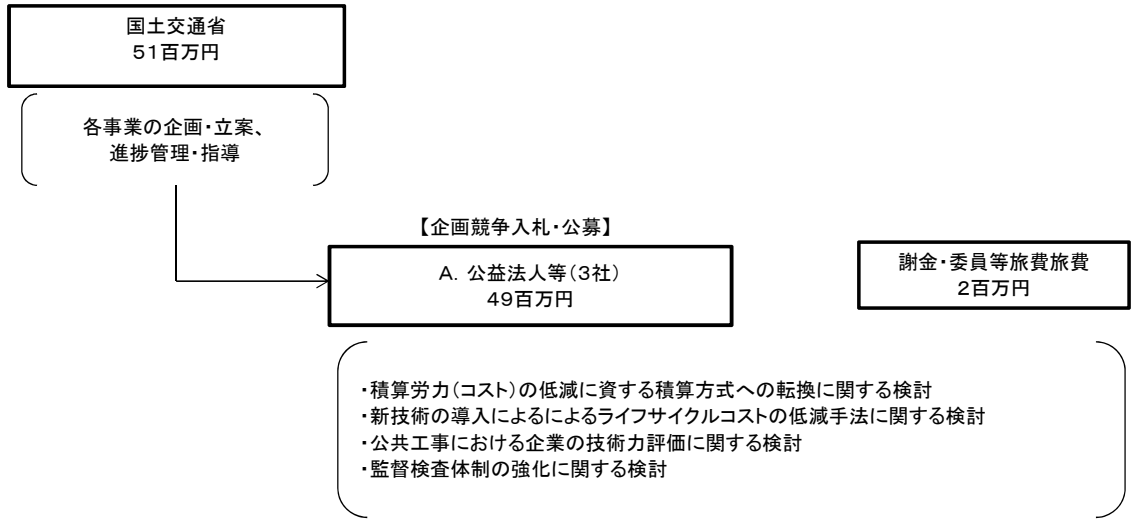


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	公共事業におけるVFM最大化経費		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20～		担当課室	技術調査課		課長 田村 秀夫		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土交通省公共事業コスト構造改善プログラム (平成20年3月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>「国土交通省公共事業コスト構造改善プログラム」に基づき、VFM最大化を目的とした「総合的なコスト構造改善」を推進するため、「コスト縮減」と「更なる品質改善」の両面から公共事業を改善することを目指す。</p> <p>※VFM(Value for Money)とは、経済性にも配慮しつつ、公共事業の構想・計画段階から維持管理までを通じて、コストに対して最も価値の高いサービスを提供すること。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>「国土交通省公共事業コスト構造改善プログラム」に盛り込まれている具体的施策について、取組みを推進する上で必要となる検討を実施。</p> <p>【コスト縮減の観点】</p> <p>①積算労力(コスト)の低減に資する積算方式への転換に関する検討 ②新技術の導入によるライフサイクルコストの低減手法に関する検討</p> <p>【更なる品質改善の観点】</p> <p>③公共工事における企業の技術力評価に関する検討 ④監督検査体制の強化に関する検討</p>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	73	55	52	51	49	
	執行額	61	54	51	-	-		
執行率(%)	84.0%	97.4%	98.1%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国土交通省・関係機構等における総合コスト改善率 総合コスト改善率とは、総合コスト改善額を当該年度の全工事費(維持管理費にかかる工事費を含む)と工事コスト改善額との和で除したものの。 総合コスト改善率 = 総合コスト改善額 ÷ (全工事費 + 工事コスト改善額) 総合コスト改善額 = 工事コスト改善額 + 工事コスト以外の効果のコスト換算額		成果実績	%	8.6%	11.3%	集計中	15%
			達成度	%	57.3%	75.3%	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)調査・検討業務のため、事業箇所数や事業件数を計測できる内容ではない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない。 (理由)調査・検討業務のため、事業箇所数や事業件数を計測できる内容ではない。		算出根拠					
平成25・26年度予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1	業務内容の精査により、検討項目を絞り込み要求額へ反映。				
	委員会等旅費	1	1					
	社会資本整備・管理効率化 推進調査費	48	47					
	計	51	49					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・VFM最大化を重視した「国土交通省コスト構造改善プログラム」に盛り込まれる主要施策の課題について取組を進めることにより、公共事業のVFM最大化の促進を図る。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・支出先については、企画競争により競争性の確保に努めている。 ・企画競争については、発注者が仕様の詳細を定めがたいものに限定している。 ・業務発注を計画するにあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について十分検討を行い、効率的な執行に努めている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・平成23年度の総合コスト改善率を集計した結果、11.3%となっており、目標達成に向けた成果を概ね示していると考えられる。引き続き、VFM最大化を重視した国土交通省公共事業コスト構造改善プログラムに基づく各種施策の取組の推進・検討を図る。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	「事業の効率性」については、内部組織又は外部有識者による審議結果等に基づき評価している。また、「国費投入の必要性」、「事業の有効性」についても妥当であると判断でき、今後も引き続き取組を実施していく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	毎年度行っている本事業とVFM向上の関係について、検証を十分に行う。 また、発注に当たっては、より競争性・透明性の高い発注方法を選択する。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	業務内容の精査により、検討項目を絞り込み要求額へ反映。 支出先については、企画競争により競争性の確保に努めており、今後も発注に当たっては、競争性の確保に努めていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	4	平成24年	6

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(財)国土技術研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	・積算労力(コスト)の低減に資する積算方法への転換に関する検討 ・公共工事における企業の技術力評価に関する検討	28			
計		28	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国土技術研究センター	・積算労力(コスト)の低減に資する積算方法への転換に関する検討 ・公共工事における企業の技術力評価に関する検討	28	企画競争	—
2	(株)日本シビックコンサルタント	・シールドトンネル技術の安全性向上にむけた検査体制の検討	12	企画競争	—
3	(株)三菱総合研究所	・再生可能エネルギー発電を施設維持管理に適用・導入するための基本計画案等の検討	9	企画競争	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—